

2.1.2.2

ソフィストとソクラテス

ソクラテス 後編

前回のポイント
ソクラテス の思想
魂 (プシユケー) の世話
とは
よく生きること

人間にとって

徳（アレテー）とは何か？

ソフィストの答え → レトリケー弁論術

ソクラテスの答え

→ ソフィア（知恵）

徳は知恵である

主知主義

吟味の無い生活は

人間の生活ではない

本当に

正しい知恵が

正しい行動を

もたらすか？

ネコには善悪の知恵がない



泥棒は正しい知恵を
持っていないのか



怠ける受験生は勉強の
大切さを知らないのか



正しい行為をもたらすもの

主知主義：知恵

主意主義：意志

善美（カロカガティア）

についての知恵こそが

善美の行いを生む

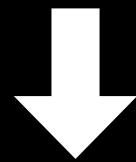
カロス

アガトス

kalos + agathos

美しい

善い



善美 (カロカガティア)

ソクラテスの死

ソクラテスが訴えられた遠因

Socratic irony

ソクラテスの皮肉



無知を暴露されたことへの怨恨

ソクラテスの告訴理由

- 1.ソクラテスが青年に害悪を与えた
- 2.国家の神々を認めず、新奇な神霊（ダイモニオン）を持ち込んでいる

裁判の結果

無罪有罪決定の投票

有罪280対無罪220

刑量確定の投票

死刑賛成360対反対140

「死刑」確定



なぜ、ソクラテスは
逃亡しなかったの
か？

悪法も法なり？

ソクラテスが目指していたものの
魂（プシュケー）の世話

よく生きること

脱獄＝不正を行うこと

→正義に反し，魂を損ねる

永遠の魂を優れたものにするため

不正な判決＝死刑を受け入れた

ソクラテスのプシユケー
は今も生きているか？

ソクラテスの処刑は
プラトンの人生を変えた

政治家



哲学者

プラトンが対話篇を通して
ソクラテスの思想を
伝えたことにより、
ソクラテスの思想は
今も生きている

【今日のまとめ】

ソクラテスは

哲学し続けることこそ

魂の世話だと考え

それに命を懸けた